

責任と義務

成人になると得られる自由と権利。しかし、自由には責任が伴い、権利には義務が伴います。

満20歳になると、法律上大人として扱われ、さまざまな自由と権利が認められます。しかし、自由と権利が認められる代わりに、納税や勤労など、義務を果たすことが求められます。

20歳になると：

◆ **飲酒・喫煙ができるようになる**
飲酒や喫煙も公認されます。しかし、飲みすぎ、吸い過ぎは健康障害の要因にもなります。適量を守り、楽しく健康的な付き合いを心がけましょう。また、喫煙する場合は他人に迷惑をかけないように喫煙マナーを守りましょう。

◆ **親権者の同意なしで結婚できる**
両親の同意を得なくても双方の意思だけで結婚が可能になります。

◆ **両親の同意なしで賃貸の契約などできる**
賃貸やローン契約といった「法律行為」が行えるようになります。

◆ **公営競技の投票券が購入できる**
競馬や競輪、競艇といった公営競技の投票券が購入できるようになります。

◆ **10年有効なパスポートを申請できる**
未成年ではパスポートの有効期間は5年ですが、成人すると10年のものを申請できるようになります。

◆ **国民年金への加入義務が発生する**
成人すると「国民年金への加入義務」が発生します。学

◆ **選挙権が与えられる**
※本年6月から選挙権年齢は18歳に引き下げになります。

◆ **選挙権が与えられる**
（※本年6月から選挙権年齢は18歳に引き下げになります。）



みんなの思いを実現していく代表者を選挙で選ぶ権利、「選挙権」が与えられます。みんながよりよい社会づくりに参加できるよう定められた大切な権利です。棄権することなく投票しましょう。これらのほかにも、中型自動車免許など、免許や資格に関する「取得条件」を満たすこともできます。

新成人へのメッセージ ～2、3回目の成人式を迎えた先輩より～



菅原 博和さん
(追町・八幡)



佐藤 和子さん
(中田町・巻)

自分が20歳の時は、特別な目標もなく、普通に仕事をして友達と遊ぶのが楽しみでした。これまで仕事は3回転職しましたが、どんな職種でも必ず人と関わるので、人との付き合いを大切にすることを意識してきました。仕事以外では、小学校からサッカーを続けています。現在は地元チームで40代以上のリーグ戦に参加。仲間たちと長く続けられるのは幸せだと思います。

高校卒業後、仙台市内の会社に事務員として就職。中学の同級生と結婚するため21歳で帰郷しました。当時は「早く結婚して、子どもを授かり、より多くの家族で過ごす」が幸せの形。この選択は間違いではなかったと思っています。生き方にはさまざまな選択肢があります。それでも女性の皆さんには結婚、出産をしてほしいと思います。そこで広がる視野と世界があるからです。

「大人になった」と実感したのはどんなとき？

1. 社会人になったとき(29.5%)
2. 20歳になったとき(27.4%)
3. 特にない(19.0%)
4. 選挙に参加したとき(16.7%)
5. 経済的に自立したとき(16.1%)
6. 親元を離れたとき(12.3%)
6. 結婚したとき(12.3%)
8. 子どもが生まれたとき(9.8%)
9. 両親の苦勞がわかったとき(9.8%)
10. 性格が丸くなったと感じたとき(5.9%)
11. 社会の理不尽さを知ったとき(4.8%)
12. その他(0.4%)

資料・ライフメディアより
複数回答/25歳以上の全国男女
(1000サンプル)

20歳の決意

大人の一步を歩み出した新成人。式典で新成人を代表して発表した二人の「二十歳の主張」(抜粋)と各町代表者の夢や目標を紹介します。

小野寺 敦さん (追町・新町)
未来の市の担い手として
精一杯取り組みたい



私は現在、登米市の職員として働いています。市民のため、市を盛り上げていくために失敗しながらも働くことの充足感を感じています。そして、働く上で強く実感したことがあります。それは、人はどのような状況でも

誰かに支えられて生きているということ。市の業務はデスクワークだけでなく、イベントの運営や意見要望の対応など、多岐にわたります。市民の暮らしをより良くしていくために目に見えないところで支えている先輩方の姿を見て、私も誰かのために支えることができるよう日々努力していきたいと思っています。

最後に、これまで育ててくれた皆さんや地域に少しでも恩返しができるよう、登米市に生まれたことを誇りに思い、未来の市の担い手として自分自身にできることを精一杯取り組んでいきたいです。

佐藤 里奈さん (豊里町・保手)
市の農業発展のため
最善を尽くしたい



高校卒業後、私がみやぎ登米農業協同組合に就職し、金融窓口の業務に従事してから早くも2年が経とうとしています。社会の厳しさを実感し、辛くなることもあり、日々新しいことを覚え、社会人として少しずつ成長し

ていくことができているのは、上司や先輩方の愛があるご指導のおかげです。近年、農業を取り巻く環境は厳しい状況にあります。登米市の農業は全国、そして世界にも負けない素晴らしいものです。さらなる発展のためにも、私たちのような若い世代に農業への関心を持ってもらう必要があります。登米市を支える一人として、最善を尽くしていきたいと思っています。私たちは今日から社会的に大人として認められます。一人一人がその自覚と責任を持ち、日本社会、生まれ育ったこの登米市に貢献できるように歩んでいきます。

Interview

八嶋 千尋さん (登米町・蛭沢)
仙台の大学に通っています。将来は地元に戻り公務員になりたいと思っています。大好きな地元に戻ってきて親孝行したいです。厳しくも優しい祖母のような大人が目標です。



阿部 美沙紀さん (中田町・表)
青森の大学に通っています。将来は県内に戻り、目指している職業に就きたいです。まだ大人という実感はありませんが、これまで育ててくれた家族に、ありがとうと伝えたいです。



白石 凌也さん (東和町・錦織4区)
市内の工業高校を卒業後、巻鉄心メーカーの会社に勤めています。仕事にも家族にも真っ直ぐ向き合ってくれる父のような大人になりたいです。将来は幸せな家庭を作りたいです。



千葉 大貴さん (石越町・芦倉)
東北学院大学で経営学を学んでいます。成人式が一つの区切りとなり、一人の大人として将来の目標を見つけました。自分が目指す職業で被災者の復興に携わっていききたいです。



高嶋 萌未さん (米山町・六軒屋敷)
4月から県外のスポーツクラブに就職します。これまで支えてくれた家族には感謝しています。これまで頼ってばかりいたので、人の気持ちを考えられる頼られる人になりたいです。



高橋 充さん (南方町・平貝)
父が営む高橋建築でリフォームの仕事を始め1年になります。父と一緒に仕事し、仕事に対する姿勢を間近で感じています。人に優しく、みんなに仕事を教えられる人になりたいです。



今野 翔太さん (津山町・本町三丁目)
昨年4月から追川沿岸土地改良区に勤めています。20年は長いようであっという間に感じました。早く仕事を覚えて、高校で学んだ電気の資格を生かしながら、登米市へ貢献したいです。

